

釧路南ロータリークラブ会報

第4回 例会報告 2007.7.27 通算1215回

・ 点 鐘 佐野会長

・ ロータリーソング

「手に手つないで」

ソングリーダー 多田和代会員

・ お客様と来訪ロータリアンの紹介

白糠ロータリークラブ 大島 修造君

・ 誕生祝

森 伸一郎会員 S 37. 7. 29 (45歳)

佐野 実会員 S 32. 8. 1 (50歳)



佐野会長

・ 会長挨拶

先週理事会がありました、議題が何点かありましたが幹事より報告いたします、私からは退会者の報告をいたします、前年度5月に増井会員より退会届が出ておりました。その後何回か数名で会社の方に伺い、残って頂くようお願いをしましたが、どうしても、仕事の都合で、欠席が多くなるので、一次退会しますとの事で、今回理事会において承認されました。尚、退会手続きについては、6月

末付けになります。

今年度、各委員会の会合を早い時期に開いていただきたいと思います。クラブ奉仕委員会とその小委員会は30日に行う予定ですが、内容は今年度の委員会活動計画をどのように、実行していくか、具体的に検討して頂きたいと思いません。

・ 幹事報告

* 白糠ロータリー主催飲酒運転撲滅他キャンペーンパークゴルフの件

* 中越沖地震災害義援金のお願い

* 地区大会について

【理事会の決議事項】

* G S E受け入れの件 (ホームステイ北上会員) フォロー (佐野、長倉、木内、多田、花田、工藤) 30日 補佐事務所で打ち合わせ

* 国際奉仕委員長の件 (花田会員)

* 新入会員の件 (8月3日夏祭り例会に入会式、歓迎会の予定) 和田氏、渋谷氏

・ 白糠ロータリークラブ

大島修造社会奉仕委員長



**国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区
飲酒運転撲滅および交通事故防止キャンペーン
パークゴルフ大会開催要項**

1.目的 近年、飲酒運転による重大事故が社会問題となっている現状を重視し、また頻発する交通事故をロータリークラブとしても看過することは許されないことと認識し、私達ロータリアン自身も他山の石とすることなく自らを律することが今こそ重要であります。私達白糠ロータリークラブは、国際ロータリー第 2500 地区第 7 分区のロータリアン皆様にもご賛同をいただき、社会奉仕の一環としてこの運動の意義を一同に会し、再認識したいと思います。併せて、パークゴルフ大会を開催し、懇親交流会を計画いたしました。上記趣旨をご理解の上、ご参加下さいますようお願いを申し上げます。

なお、交通遺児奨学基金として寄付を考えておりますが、ご賛同いただけましたら、各クラブ 1 万円のご負担を賜りたくお願い申し上げます。

- 2.主催 白糠ロータリークラブ社会奉仕委員会
3.期日 平成 19 年 9 月 7 日 (金)
(雨天の時は 9 月 14 日 (金) に順延します。)
4.日程 受付 10:00 開会式 10:10
競技開始 10:30 懇親会 13:00
(表彰式も行います)
5.会場 しらぬかパークゴルフインチャロ
(TEL01547-9-3555)
6.参加人数 各クラブ 10 名以内でお願いします
(釧路 RC、釧路北 RC は会員数の関係から多少多くてもよろしいです)
7.参加料 1 人 2,000 円
(プレー代、懇親会費、参加費)
8.競技方法
①国際パークゴルフ協会ルールを適用
②36 ホールストロークプレイ戦

- ③組み合わせは主催者が行う
④各コースにボーナスホールを用意する
⑤各組トップの方はマーカーとなり、ゲーム終了後スコアを受付に提出する
⑥ダブルスコアで打ち止めとする
(パー 3 は 6、パー 4 は 8、パー 5 は 10)

**・委員会報告
親睦委員会**

・本日のニコニコ献金

森 伸一郎会員 誕生祝として
佐野 実会員 誕生祝として

・本日のプログラム

「活動計画発表Ⅱ」クラブアッセンブリー

担当 会長・幹事

●国際奉仕委員会

委員長 花田 善廣



国際奉仕におけるロータリーの基本方針は「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」事であり、ロータリアン一人一人が、自分が国際理解と親善と平和を推進するという責務を負っている事を自覚し、何処かで貧困があれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、食料、教育、健康管理、環境保全など、私達の多くの人道的奉仕活動によりあらゆる国の人々の生活水準を高めようとする措置

を支援して行きたい。

国際理解を深め、世界平和を築く事がロータリーの国際奉仕のねらいと考えます。

クラブの重点目標

1. ロータリーの各月間（世界理解、米山、ロータリー財団）には、プログラム委員会と連携をとって、国際理解と親善のためのプログラムと活動を実施する。
2. ロータリー財団、米山奨学会への積極的な協力をを行う。
3. 青少年交換プログラムに積極的な参加と協力をを行い、21世紀を生きる子供達の国際理解教育の一助になること。
4. 国際大会、会合への参加奨励を行う。
5. マッチンググラントへの参加表明

●ロータリー財団委員会 委員長 原田 眞則

ロータリー財団の使命は地域、全国、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、且つ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することです。

今年度のウイルキンソン RI 会長の方針の中に海外プロジェクトへの参加協力があり、それに応えて海田ガバナーの地区目標の一つにロータリー財団への協力があります。

財団プログラム推進のためには財団基金への援助は不可欠となるので今年度も継続的な寄付の協力要請を全会員にお願いしていききたい。

国際奉仕委員長とスクラムを組んでより国際貢献できるよう活動していく。

- 1) 年次寄付（ポールハリス・フェロー、マルチプル・フェロー等）及び恒久基金（ベネファクター）等への協力要請
- 2) 財団月間には特別プログラムにより財団の情報を提供し、より一層の理解と協力をお願いする

●米山記念奨学会委員会 副委員長 長江 勉



1952年、日本ロータリーの父 米山梅吉氏の遺徳を記念して、東京ロータリークラブが「米山基金」の構想を立て、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。

やがてそれは、日本全国のロータリークラブの共同事業として発展し、1967年に文部省の許可を得てロータリー米山記念奨学会が設立されました。50有余年の歴史をもち、世界に類を見ない日本ロータリー独自の多地区合同奉仕活動となっています。当委員会は米山奨学事業に深い理解とより一層の貢献を果たすべく努めてまいります。米山奨学事業のPR、寄付の推進を本年度の活動目標とします。



・ 次回のプログラム

8月3日（金）

「夏祭り例会」夜間例会

会場 釧路全日空ホテル

担当：親睦活動委員会

・ 点 鐘 佐野会長
今週の会報担当：木内治彦会員